

令和2年度 第3回関市立図書館協議会

日 時：令和3年3月19日（金）

午前10時から

場 所：関市役所 6階 大会議室

会 議 次 第

1 あいさつ

2 議 題

- ① 「関市子どもの読書活動推進計画」（改定案）について
- ② 令和2年度の図書館運営状況について
- ③ 令和3年度図書館事業計画について
- ④ その他

関市子どもの読書活動推進計画

【改定案】

令和3年3月

関市

目 次

1 計画の策定にあたって	1
(1) 計画策定の背景.....	1
(2) 計画の目的.....	1
2 本市の子どもの読書活動の現状と課題	2
(1) アンケート調査.....	2
(2) アンケート調査結果による現状と課題.....	3
3 計画の基本理念と施策の方向性	6
(1) 基本目標	6
(2) 計画の体系.....	6
4 子どもの読書活動推進のための取組み	7
基本方針1 子どもが読書に親しむ機会の提供.....	7
基本方針2 子どもの読書環境の整備・充実	11
基本方針3 子どもの読書活動に関する普及・啓発.....	12

1 計画の策定にあたって

(1) 計画策定の背景

平成 13 年 12 月、国は子どもの読書活動の重要性を認識し、子どもの読書活動を支援するため「子どもの読書活動の推進に関する法律」を施行しました。同法では、各地方公共団体に対して、地域の実情を踏まえ子ども読書活動推進計画を策定し、公表することが定められました。

本市では、国・県の計画策定を受けて平成 19 年 1 月に「関市子どもの読書活動推進計画」を策定し、家庭、保育園や幼稚園、小中学校、図書館で様々な取組みを進めてきました。

計画策定より一定期間が経過し、近年の情報メディアの急速な発展により社会情勢や子どもの読書活動を取り巻く環境も大きく変化していることから、子どもの読書活動がより一層効果的に展開されるよう、新たな「関市子どもの読書推進計画」を策定するものです。

(2) 計画の目的

本計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」の趣旨を実現できるよう、子どもの読書活動をより一層推進することを目指し、本市における子どもの読書活動を推進するための目標や方針を明らかにし、市全体で総合的、計画的に取り組むことを目的に策定します。

(3) 計画の対象

本計画の対象は概ね 18 歳までの子どもとしますが、取組みの主体は大人を含む全ての市民です。

2

本市の子どもの読書活動の現状と課題

(1) アンケート調査

子どもの読書の現状を把握し、現状での課題を見つけ、それに対して必要な取組みや施策の方向性を探るためアンケート調査を実施しました。

ア 調査時期

令和2年

イ 調査対象及び人数

① 小・中学生

市内全小学校2年生、5年生の各1クラスずつ	2年生	392人
	5年生	406人
市内全中学校2年生の1クラスずつ		247人

② 幼児（5歳児）の保護者

市内19保育園のうち16園の年長クラスの保護者	286人
-------------------------	------

③ 学校図書館主任

小学校	18人
中学校	7人
※（一部の質問で）学校図書館整理員	
小学校	13人
中学校	5人

④ 保育園

公立園	9園
私立園	9園

(2) アンケート調査結果による現状と課題

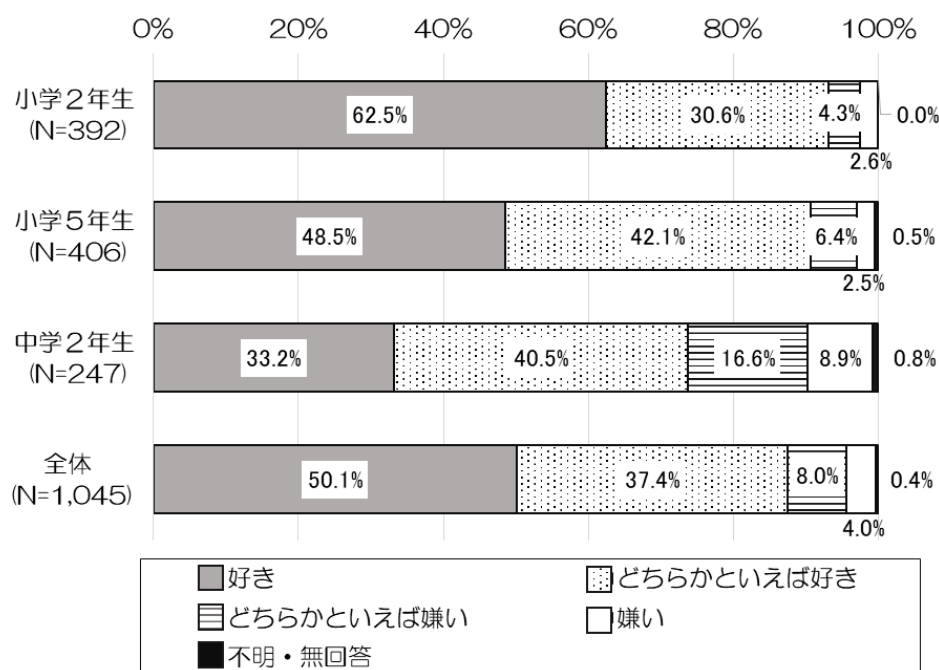
(1) 年齢とともに進む読書離れ

今回のアンケート調査によると、本を読むことが「好き」「どちらかといえば好き」と答えたのは、小学2年生では93.1%、小学5年生では90.6%、中学2年生では73.7%で、いずれも7割以上を占めていました。

その一方で、学年が上がるにつれて、「好き」と答える割合が減少し、中学2年生では小学2年生の約半分の割合となっています。さらに、学年が上がるにつれて、「どちらかといえば嫌い」と答える割合が増加し、中学2年生では「嫌い」と答える割合も増加しています。またそれに伴い、学校図書館や市の図書館についても利用が少なくなる傾向にあります。

このように、学年が上がるにつれて読書から離れてしまうことが課題となっており、子どもの発達に応じて読書活動を促す取組みを進める必要があります。

■「本を読むのが好きかどうか」



（２）保護者や子どもと関係する大人への読書活動についての更なる理解と啓発

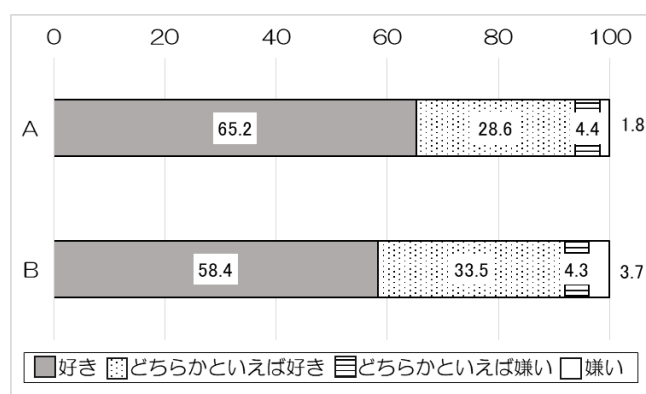
アンケートのクロス集計の結果として、身近な大人が本を読んでいると、本を好き、本を読む、図書館へ行くといった回答が多い傾向にありました。

逆に、身近な大人が本を読んでいないと、本が嫌い、本を読まない、図書館へ行かないという回答が多くなる傾向にありました。

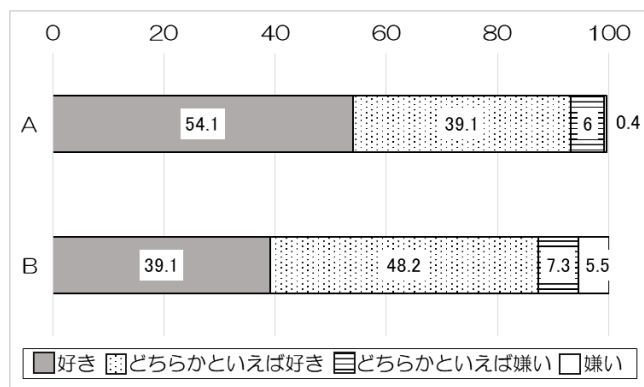
保護者や子どもたちに関わる大人が、子どもの読書活動の重要性を理解し、子どもたちに働きかけることで、子どもの読書離れを防ぐことに繋がると考えられるため、一層の理解や啓発が必要であるといえます。

■「本を読むのが好きかどうか」と「家族が本を読んでいるか」のクロス集計

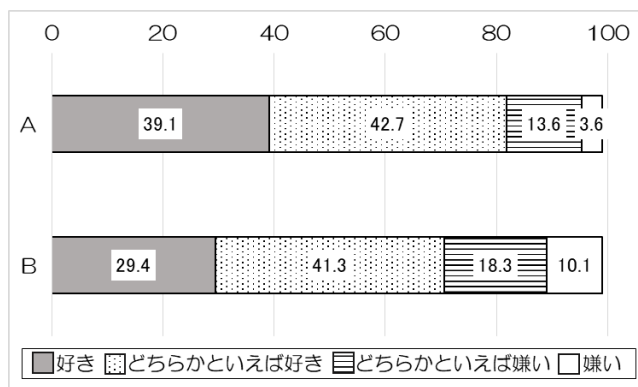
（小２）



（小５）



（中２）



※「家族が本を読んでいるか」の問いに対して

- | | | |
|--------------------------------------|---|--------------|
| 「毎日読んでいる」「たまに読んでいる」(小２・227人) | } | と回答
Aグループ |
| 「よく読んでいる」「時々読んでいる」(小５・233人、中２・110人) | | |
| 「あまり読まない」「読まない」(小２・161人) | } | と回答
Bグループ |
| 「あまり読んでいない」「読んでいない」(小５・110人、中２・109人) | | |

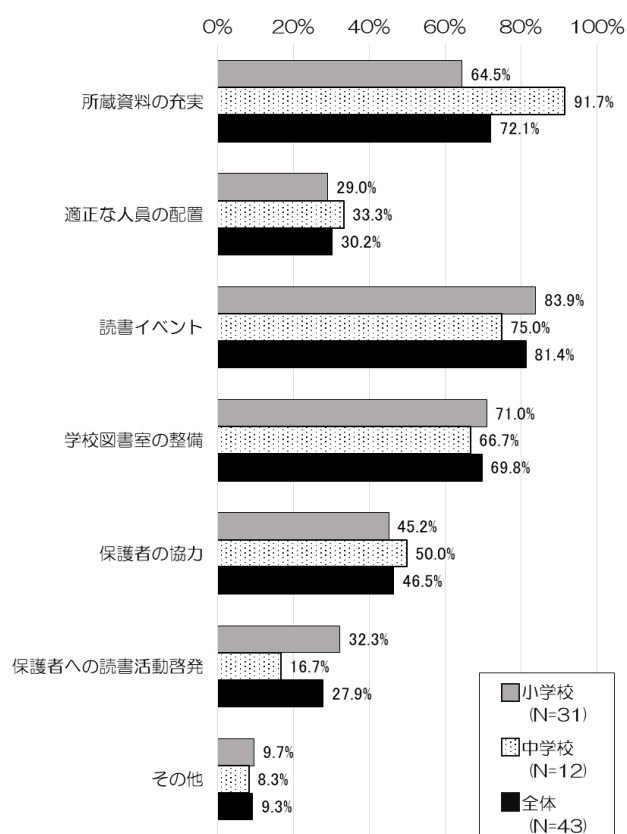
（３）関係機関の連携の強化

小中学校や保育園へのアンケート調査結果において、子どもたちの読書活動に必要なこととして「蔵書の充実」という回答が多くありましたが、関市立図書館が提供している学校電子図書館や団体貸出の利用率は低い結果となりました。また、ブックトークやボランティアの活用なども小中学校や園によって利用の差があり、関係機関の連携不足が課題として挙げられます。

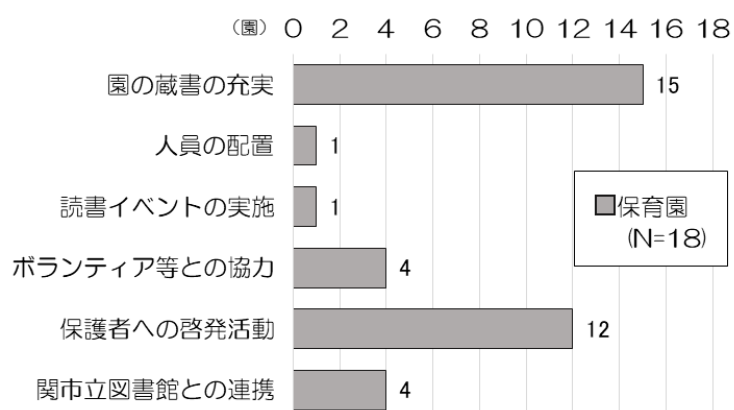
このことから、図書館と小中学校や園、ボランティア団体などの連携を強化し、子どもの読書活動の推進を一体的に行っていくことが必要です。

■「子どもたちの読書活動に必要なこと」

（小・中学校）



（保育園）



3

計画の基本理念と施策の方向性

(1) 基本目標

子どもの読書活動は、子どもたちが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにするうえで、重要な体験活動です。さらに、読書を通じて多くの知識を得たり多様な文化を理解したりすることは、個性豊かな人間形成を図る上で大きな意味をもちます。

そこで、本市では「豊かな感性と知的好奇心を育む読書活動の推進」を基本目標に掲げ、子どもたちが読書に親しみ、読書習慣を身に付け、主体的に本から学び自らの考えを深めることができるよう、家庭、地域、学校等がそれぞれの役割を果たし、市全体で子どもの読書環境づくりに取り組みます。

(2) 計画の体系

基本目標

豊かな感性と知的好奇心を育む読書活動の推進

基本方針1 子どもが読書に親しむ機会の提供

施策1 家庭における読書活動の推進

施策2 学校等における読書活動の推進

施策3 図書館における読書活動の推進

施策4 地域における読書活動の推進

基本方針2 子どもの読書環境の整備・充実

施策1 関市立図書館における読書環境の整備・充実

施策2 学校図書館における読書環境の整備・充実

基本方針3 子どもの読書活動に関する普及・啓発

施策1 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及・啓発の推進

4

子どもの読書活動推進のための取組み

子どもたちが自身がその成長に応じて多くの本に出会い、読書の楽しさに気づき、自ら読書を楽しむことができるような環境を作るために、3つの基本方針のもと、それぞれの方針に沿った施策を定め、具体的な取組みを実施することにより子どもの読書活動を推進します。

基本方針 1 子どもが読書に親しむ機会の提供

子どもたちが読書の楽しさ、必要性を理解できるよう、家庭をはじめ、保育園や学校、図書館、地域において、様々な機会を捉え、子どもが読書に親しむきっかけづくりと読書を継続的に楽しむことができる力を育てます。

施策 1 家庭における読書活動の推進

子どもが読書に興味や関心をもち、読書習慣を形成していくうえで、子どもの生活の基盤である家庭は重要な役割を担っています。子どもが本と出会う機会をつくったり、親子で本を楽しむ機会を提供するなど、家庭における読書活動を支援します。

【主な取組】

取組の方向性	取組内容
本を通した親子の触れ合いの時間や家庭での読み聞かせ支援します。	・ブックスタート事業の実施 ・おすすめ本の紹介 ・家庭教育学級等における読み聞かせ講座の実施
親子で本を楽しむきっかけとなる機会を提供します。	・おはなし会の定期的な開催 ・本にまつわる親子で楽しめるイベントの開催

施策 2 学校等における読書活動の推進

I 保育園・幼稚園

保育園や幼稚園は、子どもが初めて集団生活をする場であり、最初の本との出会いとなる場になることもあります。園で豊かな読書活動を体験することで、本に対する興味や関心がわき、それ以降の自主的な読書活動へ結びつくと考えられます。乳幼児期に読書の楽しさを知ることができるよう、子どもたちが絵本や物語に親しむ活動を推進します。

【主な取組】

取組の方向性	取組内容
子どもたちが魅力的な本と出会うきっかけづくりを行います。	・絵本貸出の奨励 ・図書コーナーの充実 ・園便り等におけるおすすめ絵本の紹介 ・団体貸出の活用
本が身近な存在になるよう、本に親しむ機会を提供します。	・年齢にあった読み聞かせの実施 ・絵本と親しむ行事や活動の充実 ・読み聞かせボランティアの活用

Ⅱ 小中学校

学校生活で良い本と出会い、読書活動を体験することは、自ら考える力を身に付け、豊かな感性と創造力を育てます。子どもが読書に親しみ、調べ学習等を効果的に進めることができるよう、学校生活の中で子どもたちが本に親しむ機会を積極的につくり、各学年に応じた取組をすすめます。

取組の方向性	取組内容
子どもたちの自主的な読書活動を推進し、読書の習慣化を図ります。	・朝読書の充実 ・親子読書の推進 ・読書ファイルの作成 ・お便りやPTA活動などを通じた保護者への啓発
子どもたちがより多くの本と出会い、読書の幅を広げていくことができるような支援を行います。	・職員による本の紹介 ・ブックトークの実施 ・読書に関する行事の実施 ・推薦図書、必読図書の選定・紹介 ・読み聞かせボランティアの活用（再掲） ・図書委員会活動の推進 ・学校電子図書館の活用
学習情報センターとしての機能強化を図ります。	・学校図書館を利用した授業の推進 ・調べ学習の実施 ・情報活用に必要な知識やモラル教育の実施

施策3 図書館における読書活動の推進

子どもの読書活動を推進するために中心的な役割を果たすのが市立図書館です。あらゆる年齢層の子どもたちが、いつでも読書の楽しさに触れることができるよう、市立図書館での読書推進事業のさらなる充実を図るほか、子どもが本や図書館に親しむ機会を増やします。また、読書の専門機関として、関係機関と連携しながら、子どもの本と読書に関するサービスの充実に努めます。

【主な取組】

取組の方向性	取組内容
子どもと本を結ぶ活動を積極的に推進します。	・読書相談やフロアワークのサービス充実 ・電子図書館の利用推進 ・ブックリストの作成 ・ヤングアダルトコーナーの充実 ・読書手帳の発行
図書館に関心を持ってもらい、子どもが読書の楽しさを知ることができるような機会を提供します。	・子ども向け各種イベントや講座の開催 ・図書館利用教育の実施 ・おはなし会の定期的な開催（再掲）
図書館を利用した自主的な学習活動を支援します。	・英語多読資料の充実 ・主題図書の充実 ・レファレンスサービスの活用促進
園や学校において適切な読書活動が推進できるよう支援します。	・職員派遣 ・団体貸出の利用促進 ・図書館見学の受入れ ・図書資料提供などによる授業支援 ・学校電子図書館の利用促進 ・学校図書館主任、学校図書館整理員研修への参加
読書活動に関わる関係機関や団体との連携を強化します。	・分館、分室との連携強化 ・ふれあいセンターへの配本の充実 ・ボランティアの育成 ・ボランティアサークル支援 ・団体貸出の利用促進（再掲）

施策4 地域における読書活動の推進

ふれあいセンターや児童館など地域の子どもに関わる施設は、家庭や園、学校以外で子どもたちが身近に本を楽しめる場としての役割も担っています。子どもや保護者が身近な地域でいつでも気軽に本に出会える環境づくりを行います。

【主な取組】

取組の方向性	取組内容
身近な場所で良書と出会える環境づくりを行います。	・分館、分室との連携強化（再掲） ・ふれあいセンターへの配本の充実（再掲） ・地域通信における本の紹介 ・電子図書館の利用推進（再掲）
気軽に本を楽しめる機会を提供します。	・子育て関係施設における読み聞かせ活動の推進

基本方針 2 子どもの読書環境の整備・充実

子どもたちの快適な読書スペースと居場所を確保し、読書活動の拠点機能を強化するため、市立図書館と学校図書館の資料や設備等の充実を図ります。また、子どもの読書活動を支えるボランティア等の育成や活動を支援するとともに、司書、司書教諭、学校図書館整理員等の資質向上に努めます。

施策 1 関市立図書館における読書環境の整備・充実

市立図書館は、子どもたちが読書を楽しむ場であるとともに、知りたい情報を収集したり、学習をする場でもあります。子どもたちの興味や関心、学習意欲に応えるような図書資料の充実を図るとともに、子どもたちが快適に過ごせる環境を整えます。

【主な取組】

取組の方向性	取組内容
子どもの読書・学習・情報収集に資するような魅力ある図書資料を提供します。	・絵本、児童書の充実 ・ヤングアダルトコーナーの拡充
子どもたちが本に興味をもてるような館内整備を行います。	・魅力あるテーマ展示の実施 ・読みたい本と出会える配架の工夫
子どもたちにとって居心地の良い環境となるよう館内の改修を行います。	・年齢や目的にあった館内のエリア分け ・子どもでも使いやすい設備の設置 ・学習席の増席
本の専門家としての司書の資質向上に努めます。	・専門的な研修への参加

施策 2 学校図書館における読書環境の整備・充実

子どもの読書活動の充実と資料を活用した主体的な学習を進めるため、様々な興味や関心に応えるような図書資料の整備に努めるとともに、学校図書館の利用促進を図ります。また子どもにとって身近な大人である教員等が、子どもの読書活動の重要性を認識し、質の良い豊かな読書活動を行うことができるよう努めます。

【主な取組】

取組の方向性	取組内容
子どもたちにとって魅力的な学校図書館環境をつくれます。	・質の高い資料の充実と計画的な整備 ・テーマ展示や掲示物等の工夫 ・探しやすい図書配列の工夫
教職員等の資質向上と学校間での情報共有を図ります。	・学校図書館主任、学校図書館整理員の研修 ・学校司書の配置

基本方針 3 子どもの読書活動に関する普及・啓発

子どもたちが読書の楽しさ、必要性を理解できるよう、家庭をはじめ、保育園や学校、図書館、地域において、様々な機会を捉え、子どもが読書に親しむきっかけづくりと読書を継続的に楽しむことができる力を育てます。

施策 1 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及・啓発の推進

子どもに接する大人が読書の魅力を知り、読書の意義や重要性を理解することが、社会全体で子どもの読書活動を推進していくことに繋がります。読書に関する情報や取組を積極的に発信することで、子どもの読書活動に対する社会全体の意識の醸成に努めます。

【主な取組】

取組の方向性	取組内容
市全体で読書活動を推進する機運を高めます。	・読書に関する取組や行事の情報発信 ・ホームページの充実 ・SNS を活用した情報発信 ・子ども読書の日などの機会を捉えた啓発

第3回関市立図書館協議会



昨年度の事業報告

- I 今年度後半の取組
- II 来年度の方向



Ⅰ 今年度後半の取組

1. 魅力ある書架づくりの継続
2. 居心地のよい図書館(利用者に優しい)
3. 子どもの夢を育む講座・イベントの継続
4. 英語多読の推進
5. 関市制70周年記念の取組
6. 電子図書館PR、利用促進業務
7. 学校及び文化課等関係団体との連携強化
8. 新型コロナウイルス感染拡大防止への対応

1. 魅力ある書架づくり

(1)別置棚 児童書



(2)英語関係棚増設
・研究室前



(3)タイムリーな展示作成

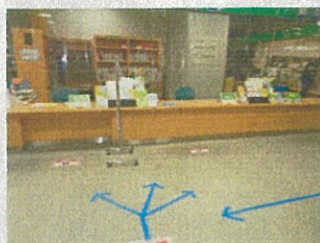
- ・ベートーベン生誕250年記念
- ・明智光秀(関高校講座関連)
- ・追悼 篠田桃紅 など



2. 居心地のよい図書館 (利用者に優しい)

1. 利用者導線の改善

- ・貸出カウンターをフォーク並びに
- ・児童書側のカウンターを締め切りに



3. 子どもの夢を育む講座

○子どもの夢を育む講座→読書推進

7月～3月 各月1回

司書によるおはなし会



8月1日(土)～8月30日(日)

図書館夏祭り(スタンプラリー)



12月20日(日)～1月24日(日)

スタンプラリー「たんけんしよう! ほんのしま」

3. イベントの開催

9月15日(火)～9月22日(火)

古本持っていきん祭りウィーク

10月1日(木)～18日(日)

「おたのしみ 古本
大抽選会」



3. イベントの開催

12月5日(土) 『スマホでキャッシュレス講座』

くせきBiz共催事業>

講師：美風 詩織さん

(ファイナンシャルプランナー&心理カウンセラー)



3. イベントの開催

2月28日（日）『わかくさ寄席』

多目的ホール使用（100名定員）

葵家いちりん（天神堂宜光改め）

他3名（社会人講談師、落語愛好家）



4. 英語多読の推進

1. シンポジウム「図書館多読への招待」

11月8日に岐阜県図書館で開催パネル発表



2. 多読イベント（実施中）

「英語多読マラソン」（2/16火～3/31水）

5. 市制70周年記念の取組

2020年12月19日（土）

『高校生が語る関の歴史～高校生による歴史探究の成果発表～』

講師：岐阜県立関高等学校地域研究部の生徒



内容：

「光秀と関市のつながりを追って」

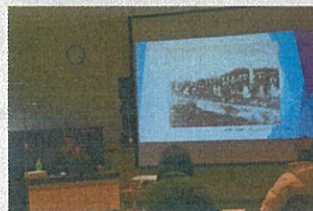
「応永年間、関鍛冶に何が起きたのか
～関鍛冶成立期の探究～」

「たたら製鉄と電子レンジ製鉄」

5. 市制70周年記念の取組

12月12日（土）～2021年1月24日（日）企画展
「古地図をたどる関市のあゆみ」

2020年12月13日（日）、2021年1月17日（日）
企画展「古地図をたどる関市のあゆみ」の
ギャラリートーク（各2回開催）



5. 市制70周年記念の取組

2021年1月24日(日)多目的ホール

講座『絵図・地図から読む関のまち』

＜市制70周年記念・合併15周年記念＞

講師：山村 亜希さん(京都大学 地球環境
学 堂 教授)

当館の住宅地図、航空
写真の活用



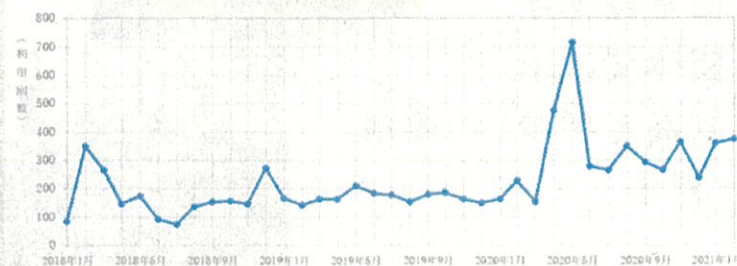
6. 電子図書館PR、利用促進業務

2018年2月 351回(3日に電子図書館オープン)

2020年4月 478回(非常事態宣言で18日より閉館)

2020年5月 716回(21日に一部開館)

電子図書館 利用回数の推移



6. 電子図書館PR、利用促進業務

11月29日(日)SEKIいきいきフェスタ2020

「来て・見て・読んで・電子図書館」

電子図書館体験コーナー&説明ブース開設

体験又は説明ブースで話を聞いた方にガチャ
ガチャチャレンジ券進呈



7. 学校及び文化課等、 関係団体との連携強化

○学校

ブックトーク

読み聞かせ

図書館見学

団体貸し出し

関高等学校との連携

(講座)



7. 学校及び文化課等、
関係団体との連携強化

○高齢福祉科との連携(前回掲載)

「認知症、アルツハイマーに関する本の展示」
(9月)



○文化財保護センターとの連携

・市制70周年記念講座・展示(再掲)

7. 学校及び文化課等、
関係団体との連携強化

○ディサービスセンター「ラクア」との連携

・花の種(入口で配布)

・エチケット袋入れ(館内イベントの景品)

・ミニしめ縄(12月27日に利用者に配布)

→お礼に元気配送便
(認知予防のコンサート)



8. 新型コロナウイルス

感染拡大防止への対応

(1) 感染防止のための対応

- 返却本、OPAC、パソコンコーナーの消毒
- 定時に換気(窓開け)
- 密を避けるための椅子撤去(半分)
- 視聴覚コーナー使用不可
- ソーシャルディスタンス確保
(床に足形貼付)



8. 新型コロナウイルス

感染拡大防止への対応

(2) 備品等の購入

- 除菌・消臭機能の
空気清浄機(おはなし会で使用)
- 非接触型
手指消毒
(入り口に設置)



非接触型手指消毒



除菌・消臭機能の空気
清浄機

8. 新型コロナウイルス 感染拡大防止への対応

(2) 備品等の購入

○本の除菌機(10冊、本袋等)

○オゾン発生器

(おはなしコーナーの除菌)



オゾン発生器



本の除菌機

困った事案

(1) 本の汚破損



困った事案

(1) 本の汚破損事例

・コミックが2回続けて濡れて返却1回は「電話で注意、2回目は対面して注意、その後、ブックポストに十数ページの破れとDVDケースが破損して返却された。電話で事情を聴こうとかけたが、不通。



・来館したところで呼び止め、事情を聴く。
・コミックは水濡れ、DVDケースは車輪荷物が自転車の車輪に巻き込まれた際に破損した、とのこと。
・コミックの弁償と資料の扱いについての注意

困った事案

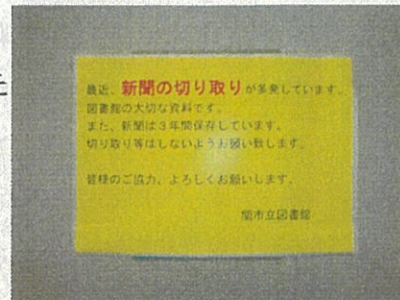
(2) 新聞切り取り事例



困った事案

(2) 新聞切り取り事例

- ・3月になり連続して切り取り事案発生
- ・注意喚起の張り紙を3か所に掲示
- ・監視カメラで個人をおおよそ特定
- ・来館を待ち、犯行について聴取、切り取りを認めたため、嚴重注意



Ⅱ 来年度の方角

1 資料の整備・充実

- ・利用者のニーズに沿った選書
- ・改修工事やコロナ対策を踏まえ、電子図書館の一層の促進(館内イベントの開催、出前講座等)



電子書籍の充実

Ⅱ 来年度の方向

2 子どもの読書推進事業の充実

- ・絵本や児童書の充実
- ・子どもの読書推進につながる様々なイベントの開催
- ・ボランティアによるおはなし会の開始
- ・安心して参加できる感染防止対策
- ・学校図書館との連携
- 英語多読の朝読書への活用
- 学校電子図書館の活用

Ⅱ 来年度の方向

3 来館しにくい人へのサービスの充実と広報

- ・ふれあいセンターや分館・分室での受取りの普及
- ・電子図書館のPR(ブックスタート、イベント等で)

4 居心地の良い図書館

- ・改修工事期間中の図書館運営の在り方の模索
(他館の事例収集)
- ・利用者が図書館を安心して利用できるためのコロナ対策

Ⅱ 来年度の方向

(新型コロナウイルス感染拡大防止に対応)

- ・書籍の消毒やシールド設置
- ・ソーシャルディスタンスを保つ床表示等
- ・昨年購入の「本の除菌機」の活用PR
- ・オゾン発生器での「おはなしコーナー」除菌

5 特色ある図書館

「せき・わか・さ文庫」資料の活用を図るための講座(関学)の開催(文化財保護センターとの連携、市民のニーズに合った講座を開設)

- ・ボランティアを活用した古文書等の整理
- ・「広報せき」や「過去の議事録」の見出し検索処理し、HPに掲載

ご清聴ありがとうございました。



関市立図書館 令和3年度運営方針及び重点施策

◎基本方針

- 1 市民各層のニーズに対応した図書館資料を整備し、レファレンスサービスの充実を図り、市民が図書館を活用して教養を高めたり、生きがいをもったりできるよう努めます。
- 2 すべての子どもが、幼い時から豊かな読書習慣を身に付けられるよう、多様な児童サービスを実施するとともに、学校や関係機関と協力して子どもの読書推進に努めます。
- 3 働く人や高齢者、障害のある方など、それぞれの課題を解決するためのサービス充実に努めます。
- 4 図書館を利用する市民にとって「居心地のよい図書館」をめざします。
- 5 郷土資料や地域産業に役立つ資料を積極的に収集するとともに、関市の貴重な資料を整理するなど、「特色ある図書館」となるよう努めます。

◎重点施策

1 資料の整備・充実

選書では、市民の読書ニーズに沿えるよう、積極的に意見を聞き取り、より多くの方が満足できるよう努めます。改修工事やコロナ対策を踏まえ、電子図書館活用をより促進するための電子書籍の充実に努めます。

2 子どもの読書推進事業の充実

絵本や児童書の充実に努め、子どもの読書推進につながる様々なイベントを開催します。昨年度停止していたボランティアによるおはなし会を開催できるよう、感染防止対策を万全にし、安心して参加できるようにします。学校図書館との連携では、これまでの職員派遣(ブックトーク、読み聞かせ等)に加え、英語多読を朝読書に取り入れたり、学校電子図書館を活用したりできるよう市内小中高等学校にPRします。

3 来館しにくい人へのサービスの充実と広報

障がい者、高齢者、仕事の都合、子育て中など、様々な理由で図書館を利用しにくい方へ、自宅近くのふれあいセンターや分館・分室での受取りの仕方について普及するとともに、いつでもどこでも利用していただける電子図書館のPRに努めます。

4 居心地の良い図書館(新型コロナウイルス感染拡大防止に対応)

大規模改修工事期間中の図書館運営について、他館の事例も収集し、当館に適した対応を模索します。

利用者に安心して図書館を利用していただけるよう、書籍の消毒やシールド設置、ソーシャルディスタンスを保つ床表示等、新型コロナウイルス感染症拡大防止に取り組みます。中でも、昨年購入した本の除菌機の活用を利用者にPRしたり、オゾン発生器でおはなしコーナーの除菌をしたりするなど感染防止に取り組みます。

5 特色ある図書館

関市の郷土資料と特徴あるコレクションである「せき・わかくさ文庫」資料の活用を図るための講座を開催します。(関学)そのために、文化財保護センターと連携を図り、市民のニーズに合った講座を開設します。また、古文書等の整理をボランティアと共に進めたり、「広報せき」や過去の議事録を検索処理し、ホームページに掲載したりします。